

《19》まんさく(満作)

マンサク科

名前の由来は、春の早い時期に先ず咲くからという説と、花が枝に満ちる様子からついたという説があります。

おやしる公園の世田谷町田線に連絡している階段の横、里山公園の緑の通路などに、ねじれたリボンのような花を枝いっぱい咲かせて春が来たことを、いち早く知らせています。

芽吹き頃の樹皮は、粘りが強く切れにくいので、最近までの綱の代用として薪を縛ったりする材料に使われていました。

又岐阜県白川郷の合掌づくりの屋根材の結束にも使われています。

シナマンサクが知られています。いくつかの品種がありますが、黄色い花を咲かせる

